

YAMAHA

PORTATONE

PSR-150

PSR-75

取扱説明書

ごあいさつ

このたびはヤマハポータートーンPSR-150/75 をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。PSR-150/75 のさまざまな機能を最大限に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、読み終わった後も、保証書とともに大切に保管して、わからないことや操作のしかたに困ったときなど繰り返しご覧ください。

目次

ご使用になる前に.....	1
電源の準備.....	1
ヘッドフォンを使うときは.....	3
PSR-150/75 各部の名称.....	2
PSR-150/75 の特長.....	3
さあ、どんな演奏からはじめましょうか.....	4
デモ曲を鳴らしてみましよう 基本的な操作方法の説明).....	6
ボイスを選んで演奏してみましよう ボイスの選択).....	8
パーカッションボイスについて.....	9
いろいろなスタイル(伴奏)で演奏してみましよう (スタイルの選択).....	10
デモ曲を聴いてマイナスイオン演奏してみましよう (デモ曲とマイナスイオン演奏).....	14
ジャムトラックを使ってみましよう(ジャムトラック).....	16
ドラムパッドを鳴らしてみましよう(PSR-150).....	17
サウンドエフェクトパッドを鳴らしてみましよう(PSR-150).....	17
スタイル/ジャムトラックのボイス一覧.....	18
付録1：デモ曲楽譜集.....	20
こんなときは.....	30
オプション 別売 商品のご紹介.....	31
PSR-150/75 仕様.....	31
付録2：ポータサウンド上達チェックシート.....	32

音楽を楽しむエチケット



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

接続する場合は、本体および外部機器とともに電源を切ってから行ってください。

ご使用になる前に

使わないときは.....



- 電源スイッチを切ってください。
- 電源アダプターを使用した時は、家庭用コンセントから抜いてください。
- 長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。

こんな所には置かないで.....



- ストーブなど暖房器具の近く、直射日光の当たる場所、日中の車の中など、極端に温度が高くなる場所。
- 湿気の多いところ、ホコリの多いところ。

近くで使わないで.....



- ラジオやテレビの近くで使うと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

乱暴に扱わないで.....



- 落としたり、物をぶつけたり、パネルや鍵盤やケーブルの上に物を置かないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

美しく保つために.....



- 汚れは柔らかい布でカラぶきしてください。また汚れのひどい時は、少し水で湿らせた布でふいてください。(アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。)
- ビニール製品を上に置かないでください。貼り付いてしまうことがあります。

不適切な使用による故障につきましては、保証しかねる場合がございます。

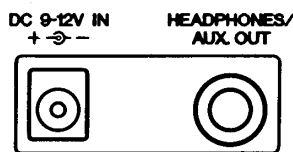
電源の準備

PSR-150/75は電源として、家庭用コンセントと乾電池の両方を使うことができます。家庭用コンセントをご使用になる場合は同梱の専用アダプターPA-3をお使いください。

家庭用コンセントから電源をとるときは

同梱の電源アダプターPA-3をご使用ください。

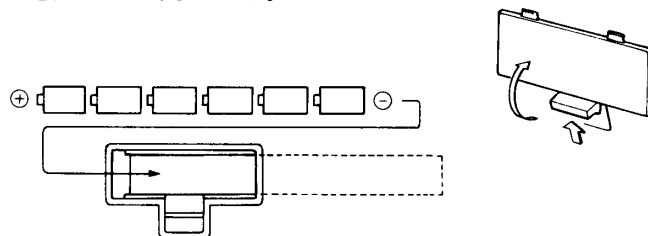
- 1 アダプターのプラグをリアパネルのDC 9-12V端子へさし込みます。
- 2 アダプターを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。



- ・電源アダプターをご使用になる場合は、必ず同梱の専用アダプターPA-3をご使用ください。他の電源アダプター使用による障害は、保証期間内でも保証できない場合がございますので、充分ご注意ください。

乾電池を使うときは

- 1 PSR-150/75を裏返し、電池プタをはずします。
- 2 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- 3 電池プタを閉めます。



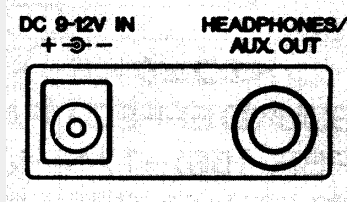
- ・乾電池はお早めにおとりかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、演奏やリズムなどがストップして、電源を入れた直後の状態にもどることがあります。このような時は、本とも新しいものと交換してください。乾電池お買い求めの際は、『単1乾電池6本』とご指定ください。決して、古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。

ヘッドフォンを使うときは(HEADPHONES/AUX. OUTについて)

一人で静かに練習する時や、夜間に演奏する時は、ヘッドフォン(ヤマハ HPE-3/5 [別売]など)のプラグをリアパネルのヘッドフォンジャック(HEADPHONES/AUX. OUT)に接続してご利用ください。接続すると自動的にPSR-150/75のスピーカーからは音が出なくなります。

また、このジャックは音声信号を出力する端子も兼ねていますので、ステレオ、ラジオカセットなどの入力端子と接続すれば、PSR-150/75の演奏をこれらの機器で鳴らすことができます。(ステレオフォン<-->ピンプラグをご使用ください。)

接続する場合は、本体および外部機器ともに電源を切ってからおこなってください。



PSR-150/75の各部の名称

※PSR-150の本体パネルは英文で表記されています。お子様ご利用になる場合は付属の和文シートをパネルにセットしてご使用ください。

ミュージックモードセクター

(MUSIC MODE SELECTOR)→6, 8, 10, 14, 16ページ

スタイル(STYLE:リズムスタイル)、ボイス(VOICE:音色)、ソング(SONG:デモ曲)の中からつかうモードをえらぶダイヤルです。また、このダイヤルを電源切(POWER OFF)まで回すと電源が切られます。

番号0~9ボタン、+/-ボタン

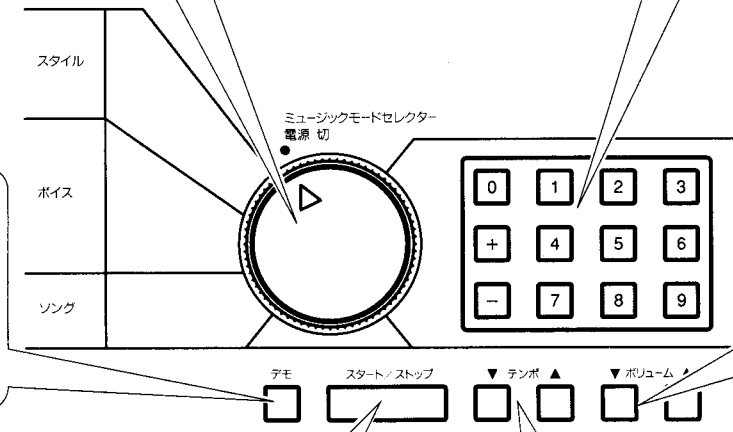
→6, 8, 10, 14, 16ページ

それぞれのモードで、スタイル/ボイス/ソングなどの番号をセットするボタンです。

デモ(DEMO)ボタン

→7, 15ページ

デモ曲(デモンストレーション演奏)をスタート/ストップするボタンです。



ボリューム

(VOLUME)▲▼

ボタン→7ページ

PSR-150/75のスピーカーから出る音の大きさを調整するボタンです。

スタート/ストップ(START/STOP)ボタン

→7, 11, 15, 16ページ

伴奏やデモ曲のマイナスワン演奏などをスタート/ストップするボタンです。

テンポ(TEMPO)▲▼ボタン

→7ページ

伴奏やデモ曲などのテンポ(曲の速さ)を調整するボタンです。

ドラムパッド

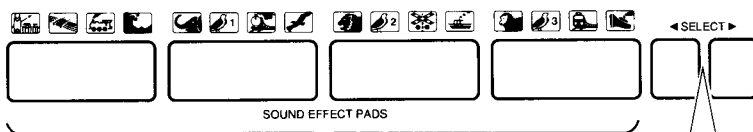
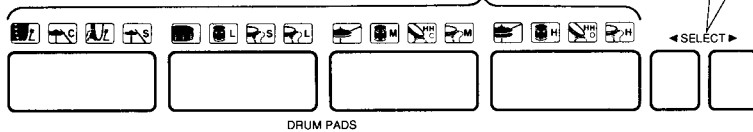
(DRUM PAD/PSR-150)→17ページ

ドラム/パーカッション(打楽器)を鳴らす時にたたくパッドです。

パッドセレクト(PAD SELECT)◀▶ボタン

(PSR-150)→17ページ

ドラムパッドのセットを切り換えるボタンです。



サウンドエフェクトパッド

(SOUND EFFECT PAD/PSR-150)→17ページ

サウンドエフェクト(効果音)を鳴らす時にたたくパッドです。

⑩パッドセレクト

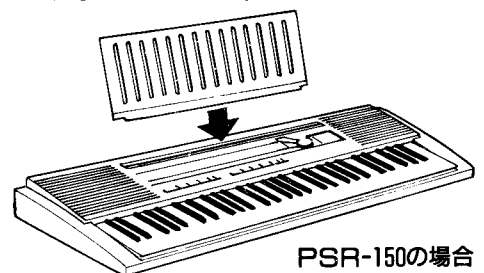
(PAD SELECT)◀▶ボタン

(PSR-150)→17ページ

サウンドエフェクトパッドのセットを切り換えるボタンです。

※譜面立ての取り付け方

楽譜を見ながら演奏するときは、譜面立てを利用すると便利です。譜面立ての下の部分をPSR-150/75のパネル上のスロットに差し込んでください。



PSR-150の場合

PSR-150/75 の特長

本物みたいな楽器音色(AWMサウンド)が
楽しめます。全部で100種類。

P.8

世界中のいろんなスタイルのリズムや伴
奏で、ミュージシャンの仲間入り！
(PSR-150 : 50スタイル、PSR-75 :
25スタイル)

P.10

バラエティあふれるデモ曲(デモンスト
レーション演奏)をきいたり、その曲で
マイナスイオン演奏もできます。
(PSR-150 : 20曲、PSR-75 : 15曲)

P.14

一流スタイルのジャムトラック(コード
進行)でカッコよく演奏してみましょ
う。(PSR-150 : 20パターン、
PSR-75 : 15パターン)

P.16

ドラムパッドでドラマーを気取ってみま
しょう。(PSR-150)

P.17

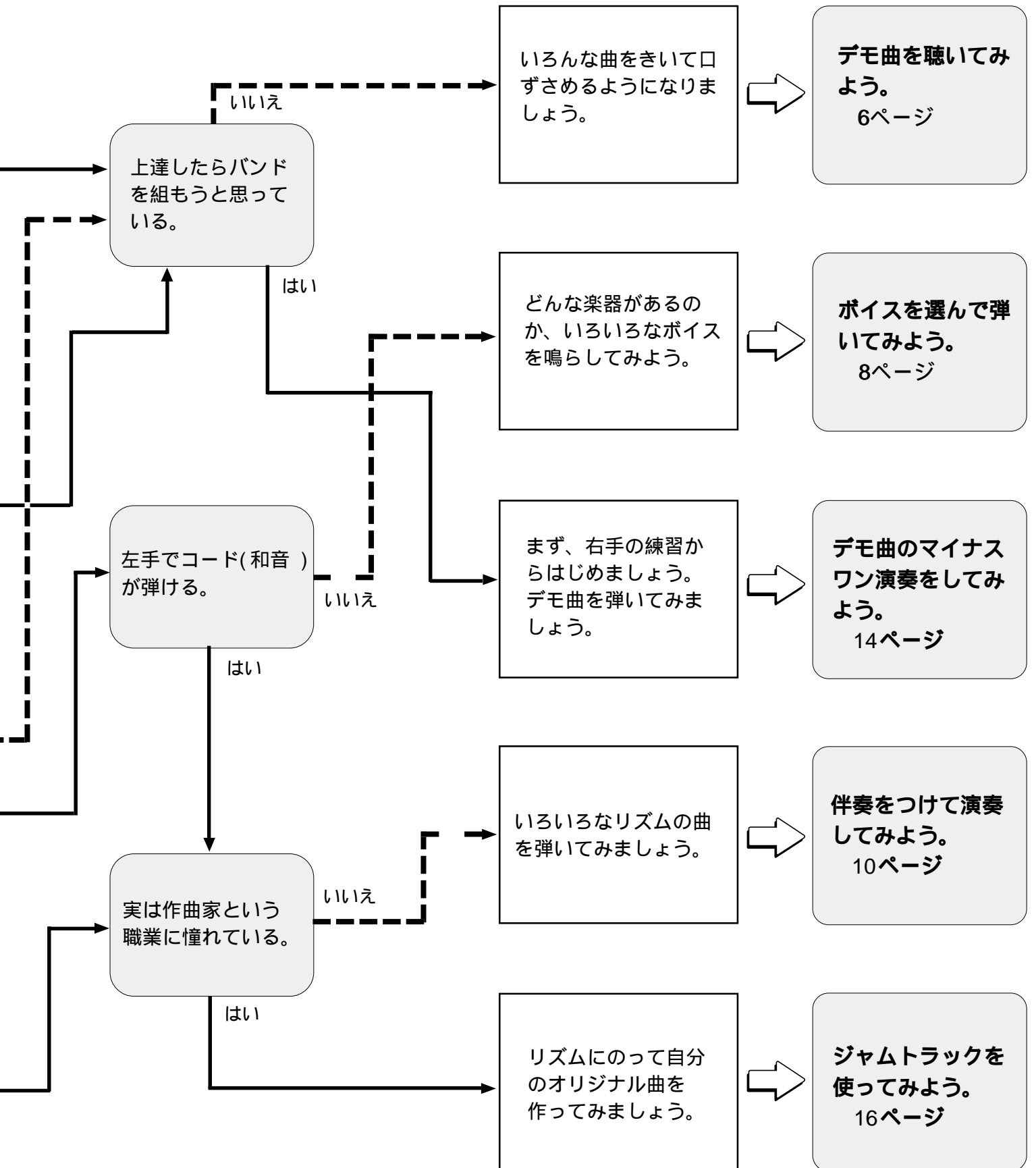
サウンドエフェクトパッドで効果音を鳴
らしてみましょ。 (PSR-150)

P.17

ステレオスピーカーでダイナミックサウ
ンドが楽しめます。(PSR-150)

君はこれからはじめよう。

この頁から見てください。

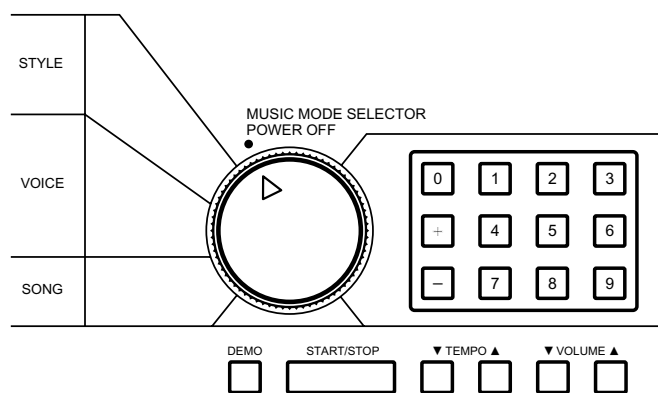


デモ曲を鳴らしてみましよう！ (基本的な操作方法の)

基本的な操作方法

PSR-150/75 はミュージックモードセレクターと番号0-9 ボタン、+/- ボタン、デモ (DEMO) ボタン、スタート/ストップ (START/STOP) ボタン、ボリューム (VOLUME) ▼▲ボタン、テンポ (TEMPO) ▼▲ボタンをつかって基本的な操作をおこないます。まずデモ曲を鳴らしながらこの操作を練習してみましょう。

1 ミュージックモードセレクター(MUSIC MODE SELECTOR)をソング(SONG)まで回します。



ミュージックモードセレクターでは、使用するモードの選択および、電源オン/オフをおこないます。

スタイル(STYLE)モード ・伴奏のリズムスタイルとそれに合ったボイス 音色 をセットで選ぶとき

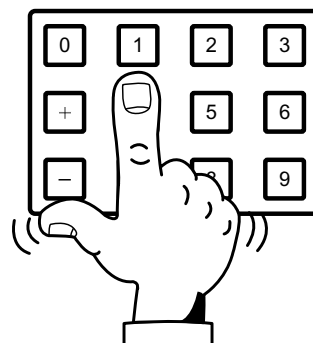
ボイス(VOICE)モード ・鍵盤で演奏する音色を選ぶとき

ソング(SONG)モード ・デモ曲/マイナスイワン演奏する曲やジャムトラックを選ぶとき

電源 切(POWER OFF)・・・PSR-150/75 の電源を切ります。

2 0 ~ 9、 +/- ボタンを使ってデモ曲のソングナンバーを選びます。

各モードのナンバー(ボイス/スタイル/ソング)を選択するときに使用します。ナンバーは順番に2つのボタンを押してください。このとき、10の位の番号ボタンを押すと低い音(ポン)が、1の位のボタンを押すと高い音(キン)が鳴ります。



例えばソングモードで「01オリジナルソング2」を選ぶ場合は、「0」(10の位)、「1」(1の位)の順番でボタンを押します。

+/- ボタンを押して番号を変えることもできます。
+ボタンを一度押すと だけ大きな番号に変わり、
-ボタンを一度押すと だけ小さな番号に変わります。

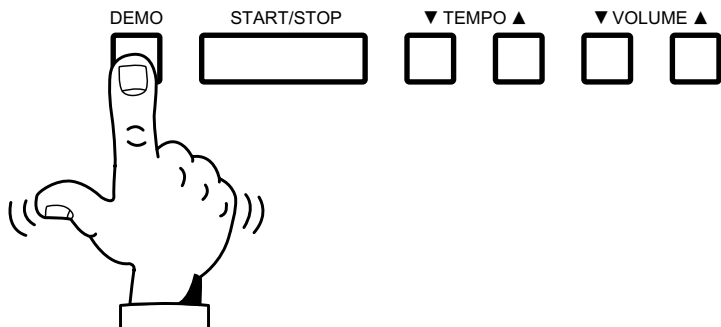
たとえば、ボイスナンバーの99を選んだ後に+ボタンを一度押すと、ボイスナンバー00の音色に変わります。

番号のキャンセル(取り消し)

10の位の番号を押した後、10秒間どのボタンも押さないと、10の位の番号は自動的に取り消されます。また、10の位の番号を押した後、0-9以外のボタンを押したりミュージックモードセレクターを回しても、10の位の番号は取り消されます。

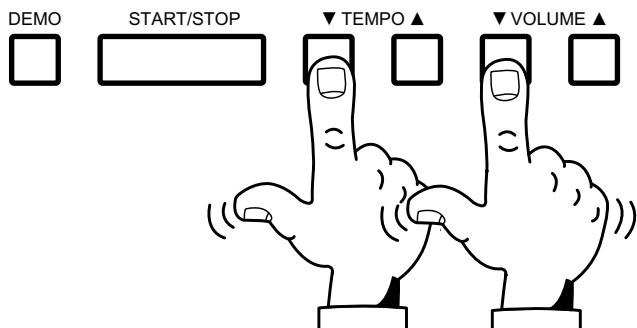
3 デモ曲をスタートさせます。

デモ(DEMO)ボタンを押すとデモ曲が始まり、番号順に次々とデモ曲が演奏されます。



4 ボリューム、テンポを調整します。

(ボリューム▼▲ボタン、テンポ▼▲ボタンについて)



ボリューム (VOLUME) ▼▲ボタンについて

▼ボタンでボリュームが小さくなり、▲ボタンでボリュームが大きくなります。▼▲ボタンを同時に押すと、最初に設定されていたボリューム値に戻ります。

また、▼ボタンを押すと低い音(ボン)が、▲ボタンを押すと高い音(キン)が鳴ります。ボリュームが最も小さく、または、最も大きくなるとそれ以上の変更はできなくなり、ボタンを押しても音(ボン、キン)が鳴らなくなります。

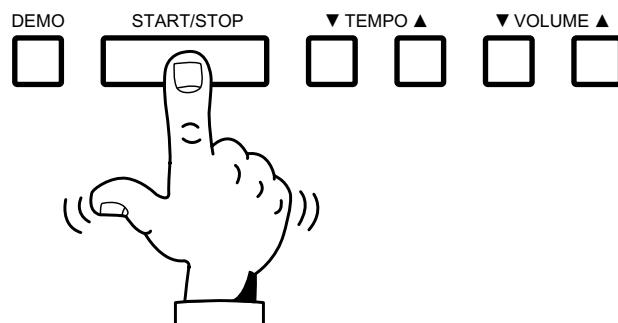
テンポ(TEMPO) ▼▲ボタンについて

テンポの調整は、テンポ(TEMPO)▼▲ボタンでおこないます。▼ボタンでテンポが遅く、▲ボタンでテンポが速くなり、▼▲ボタンを同時に押すと標準テンポ(デモ曲の最適なテンポ)に戻ります。

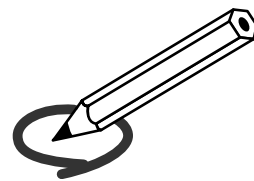
またこの時、▼ボタンを押すと低い音(ボン)が、▲ボタンを押すと高い音(キン)が鳴ります。テンポが最も遅く、または、速くなるとそれ以上の変更はできなくなり、ボタンを押しても音(ボン、キン)が鳴らなくなります。

5 デモ曲をストップさせます。

もう一度デモボタンが押すか、またはスタート/ストップ(START/STOP)ボタンを押すと演奏が止まります。



- 1 モードが自由に選べるようになったら・・・
 - 2 ボリュームが自由に変われるようになったら・・・
 - 3 テンポが自由に変われるようになったら・・・
- チェックシート(P.32)に 印を書き込んでください。



ボイス (音色) を選んで、演奏してみましょう！

ボイスの選択

PSR-150/75 には、先進のAWM(アドバンスド・ウェーブ・メモリー)音源を利用した高音質な100音色のボイスが内蔵されています。また、この100音色の中には以下のような効果がついた音色も内蔵されています。

パーカッションボイス(39/99) … 鍵盤をたたくといろいろなパーカッションサウンドが楽しめます。パーカッションリストは9ページを参照してください。

デュアルボイス(40 ~ 55) … 鍵盤をたたくと2つのボイスが重なって鳴ります。

スプリットボイス(56 ~ 66) … C3より右の鍵盤で一つのボイス、B2より左の鍵盤でもう一つのボイスが演奏できます。

サステインボイス(67 ~ 71) … サステイン(余韻効果)がかかったボイスです。

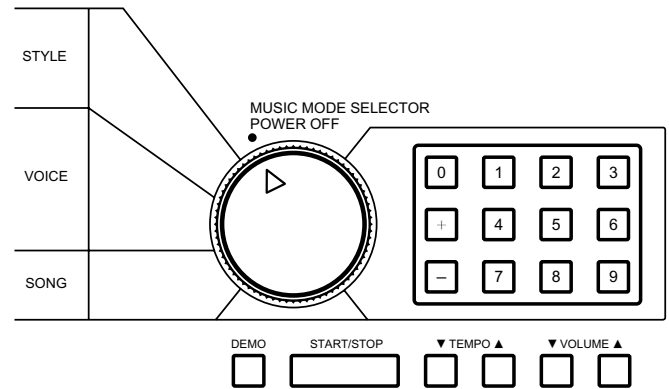
ハーモニーボイス(72 ~ 84)* … 演奏した音程に加え、1~3音のハーモニー音が自動的に付きます。

エコーボイス(85 ~ 99) … エコー(こだま効果)がかかったボイスです。

* ハーモニーボイスで演奏できるのは1音だけです。複数の鍵盤を押さえると、常にいちばん最後に押さえられた音に対してハーモニー音が付けられます。

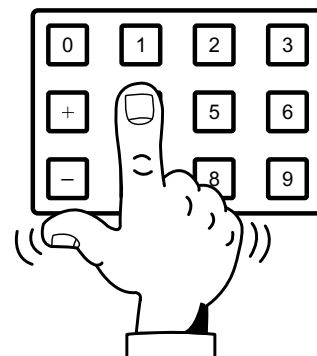
また、ミュージックモードセレクターが「ボイス」の位置にある場合は常にCコードを基本としたハーモニー音が付けられ、「スタイル」の位置にある場合またはスタイル演奏中は押さえられたコード(P.12, 13参照)を基本としたハーモニー音が付けられます。「ソング」の位置にある場合またはソング/ジャムトラック演奏中ソング/ジャムトラックのコードを基本としたハーモニー音が付けられます。

1 ミュージックモードセレクターでボイス (VOICE) を選択します。



2 ボイスナンバーを選択します。

番号0~9ボタンを使って、ボイスナンバーを選びます。ナンバーは順番に2つのボタンを押して設定してください。



・電源を入れた時、ボイスナンバーは00に設定されています。

いろいろなスタイル(伴奏)で演奏してみましょう!

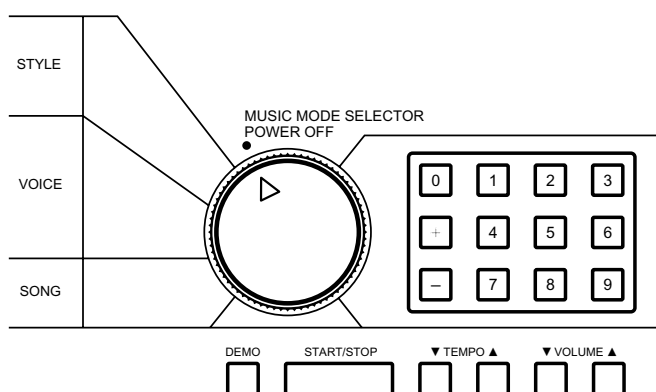
スタイルの選択

PSR-150には50種類のリズムと伴奏のスタイルが、PSR-75には25種類のリズムと伴奏のスタイルが内蔵されています。スタイルを選ぶと、そのスタイルに適したボイスも自動的に選ばれます。

自動伴奏とは、鍵盤の上部にプリントされている◀より左の自動伴奏用鍵盤(AUTO ACCOMP. SECTION)で演奏されたコードに応じて、ベース音とコード音が演奏されるという機能です。

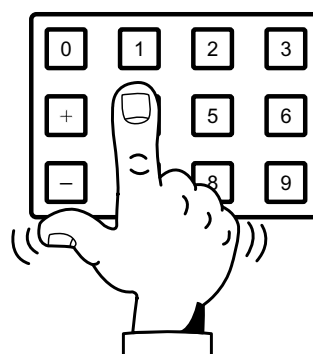
自分の好みのスタイルを選び、自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

1 ミュージックモードセクターでスタイル(STYLE)を選択します。



2 スタイルナンバーを選択します。

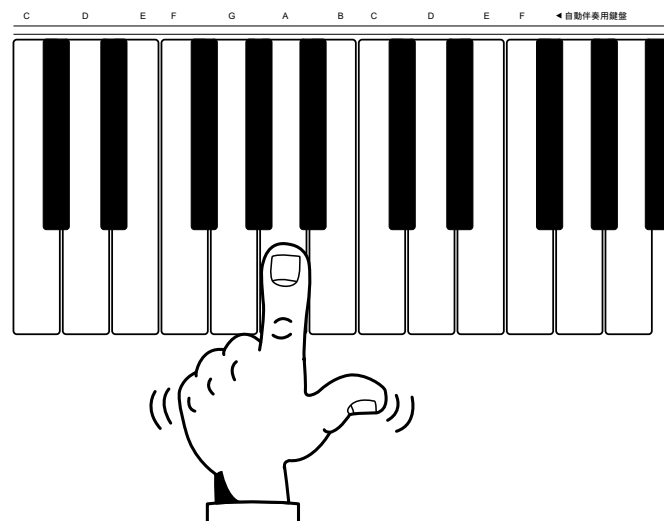
番号0~9ボタンを使って、スタイルナンバーを選びます。番号は2つのボタンを順番に押し選んでください。



- ・電源を入れた時、スタイルナンバーは00に設定されています。
- ・本体パネルに表示されていないナンバー(PSR-15は50以上、PSR-75は25以上)は選択できません。これらのナンバーを押しても、クリック音(ボン、キン)は鳴りません。

3 自動伴奏をスタートさせます。

鍵盤の上部にプリントされている◀より左の自動伴奏用鍵盤(AUTO ACCOMP. SECTION)でコードを押さえると同時にリズムと伴奏がスタートします。



また、スタート/ストップ(START/STOPボタンを使ってリズムをスタートさせることもできます。この場合、自動伴奏用鍵盤でコードが押さえられるまで伴奏は始まりません。



ベースコードホールドについて

スタイルナンバー49 (PSR-150)、24 (PSR-75)のベースコードホールド(BASS CHORD HOLD)を選んだ時は、自動伴奏は演奏されず、自動伴奏用鍵盤で鍵盤が押さえられている間、ベース音とコード音(持続音)が演奏されます。なお、この時リズム(スタート/ストップ)は働きません。

- ・スタイルを選ぶとそのスタイルごとに、◀より右の鍵盤で演奏するボイスが自動的に選ばれますが、他のボイスで演奏することもできます。この場合は、ダイヤルを回していったんボイスモードに移りボイスを選んでから、再びスタイルモードに戻って伴奏をスタートさせてください。スタイルごとに選ばれるボイスはP.18の「スタイル/ジャムトラックのボイス一覧」を参照してください。
- ・伴奏の演奏中も、ダイヤルを回してボイスを変更することができます。

- ・リズムが止まっている時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに適した標準テンポが自動的に選ばれます。
- ・伴奏の演奏中にスタイルを変更すると、次の小節から新しいスタイルの伴奏が始まります。そして同時に、ボイスも変更されます。ただし、この場合は新しいスタイルの標準テンポには変更されず、伴奏のテンポはそのまま演奏されます。テンポ▼▲ボタンを2つ同時に押すと、標準テンポに変更されます。

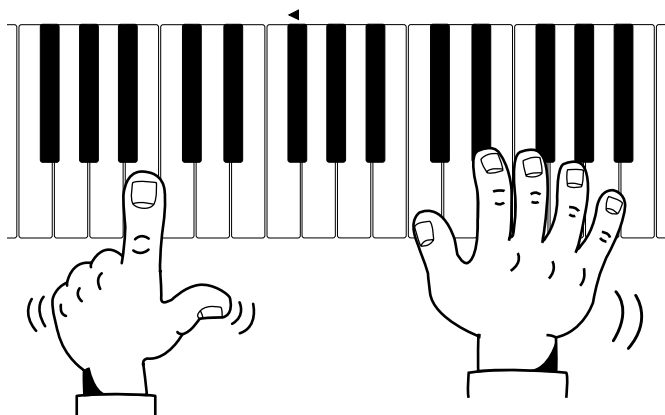
4 自動伴奏のコードを押さえます。

自動伴奏用鍵盤でコードを押さえてください。その押さえられたコードと選ばれたスタイルに従って伴奏が演奏されます。

PSR-150/75はマルチフィンガリングという新しいコード検出方式を採用しています。詳細は12ページを参照してください。

5 自動伴奏に合わせてメロディーを演奏します。

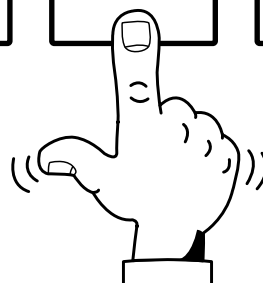
左手でコードを次々と変えながら、伴奏に合わせて◀より右の鍵盤を使って右手でメロディーを演奏してみましょう。



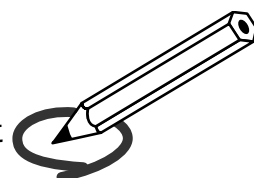
- ・この時、P.7の「テンポ▼▲ボタンについて」の項を参照して、テンポを変えて、自分の演奏しやすいスピードに調整しましょう。

6 自動伴奏をストップさせます。

スタート/ストップ(START/STOP)ボタンを押すと、簡単なエンディングフレーズが演奏された後、伴奏がストップします。



5スタイルが自由に選べるようになったら、チェックシート(P.32)に印を書き込んでください。



マルチフィンガリングについて

PSR-150/75 の自動伴奏用鍵盤(AUTO ACCOMP. SECTION)でのコードの押さえ方はマルチフィンガリングという新しい方式になっています。マルチフィンガリングとは、コードをシングルフィンガー(コードの簡単な押さえ方)で押さえても、フィンガード(通常のコードの押さえ方)で押さえても、PSR-150/75 がそのコードを自動的に識別するという便利な機能です。

- ・ PSR-150/75 は電源を入れると自動的にマルチフィンガリングモードになりますが、シングルフィンガー、フィンガードどちらかだけに固定することもできます。

PSR-150/75 の電源を切り、ナンバーボタン1を押しながらもう一度電源を入れるとシングルフィンガーモードに、ナンバーボタン0を押しながらもう一度電源を入れるとフィンガードモードに固定されます。

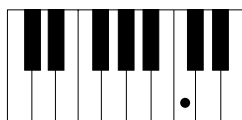
一度電源を切って電源を入れなおすとマルチフィンガリングモードに戻ります。

シングルフィンガーについて

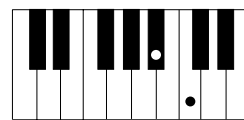
シングルフィンガーとは自動伴奏用鍵盤で3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを切り替えることができます。

シングルフィンガーのコードの押さえ方

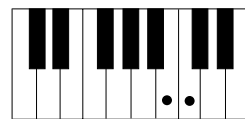
- メジャー(M)コード ・ 根音を押さえてください。
- マイナー(m)コード ・ 根音と、根音より左側の黒鍵を同時に押さえてください。
- セブンス(7)コード ・ 根音と、根音より左側の白鍵を同時に押さえてください。
- マイナーセブンス(m7)コード ・ 根音と、根音より左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。



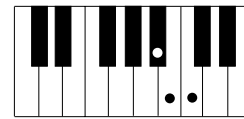
Cメジャー(M)コードの押さえ方



Cマイナー(m)コードの押さえ方



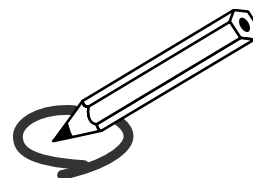
Cセブンス(7)コードの押さえ方



Cマイナーセブンス(m7)コードの押さえ方

- ・ コード押鍵は自動伴奏用鍵盤の範囲内であれば、オクターブに影響されません。例えば、C1とC2が自動伴奏用鍵盤にある場合、どちらを押さえても同じ伴奏が演奏されるということです。
- ・ シングルフィンガーモードに固定した場合、自動伴奏用鍵盤はC1～C#2に変更されます。

らシングルフィンガーでコードが押さえられるようになったら、チェックシート(P.32)に印を書き込んでください。

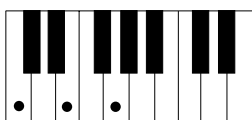


フィンガードについて

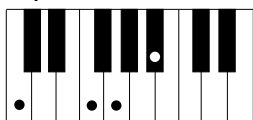
鍵盤の上部に印刷されている◀より左の自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、そのコードと選ばれたスタイルに従って伴奏が演奏されます。

[Cのコードバリエーション]

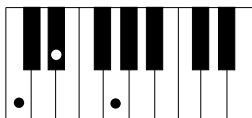
C



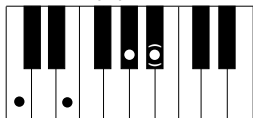
C7sus4



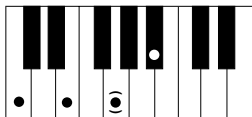
Cm



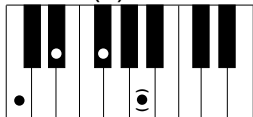
Caug(7)



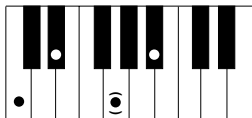
C7



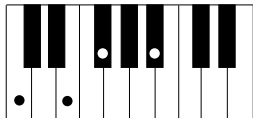
Cdim(7)



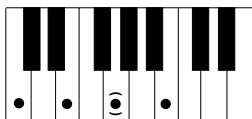
Cm7



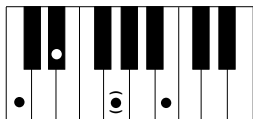
C7-5



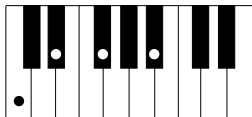
CM7



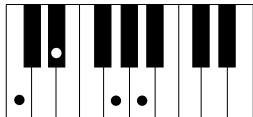
CmM7



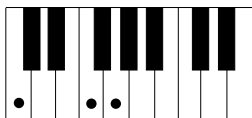
Cm7-5



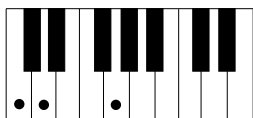
Cm6



Csus4

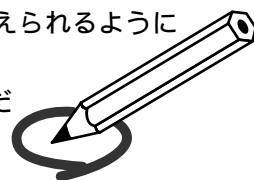


C9



- ・コードはすべて基本形で書かれていますが、その転回形も可能です。ただし、以下の場合を例外とします。
 - ・オーギュメントド、ディミニッシュドセブンスは押鍵の最低音を根音とみなします。
 - ・セブンスフラットドフィフスは押鍵の最低音を根音またはフラットとみなします。
 - ・マイナーシックスとナインスは基本形のみを受け付けます。
- ・フィンガードに固定した場合、黒鍵を含めて隣り合う音を押さえると、コード演奏がキャンセルされ、リズムのみの演奏になります。
- ・BaugとA#m6とBm6は検出しません。
- ・特定のコードについては、スタイルによって、異なるコードを押さえてもコードが変わらない場合があります。

7フィンガードでコードが押さえられるようになったら、チェックシート(P.32)に印を書き込んでください。



・カッコ ()内の鍵盤は押さえなくてもかまいません。

デモ曲を聴いてマイナスワン演奏してみよう！

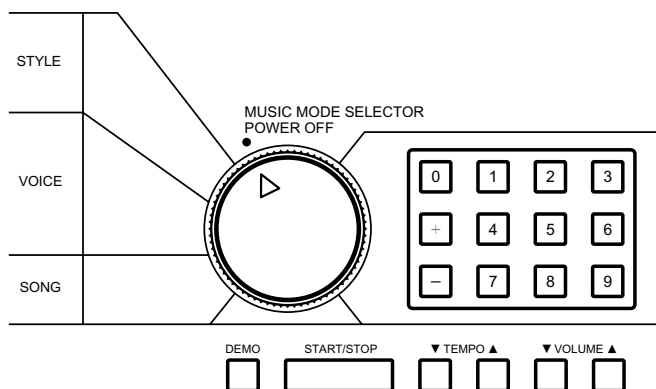
デモ曲とマイナスワン演奏

PSR-150 にはバラエティーに富んだ20種類のデモ曲(ソング)が、PSR-75 には15種類のデモ曲が内蔵されています。自分の好みのデモ曲を選び、聴いてみましょう。

デモ曲を聴いた後は、今度はマイナスワン演奏で、デモ曲のメロディー部分を自分で演奏してみましょう。マイナスワン演奏とはデモ曲のメロディー部分を消して鍵盤で演奏できる機能のことです。

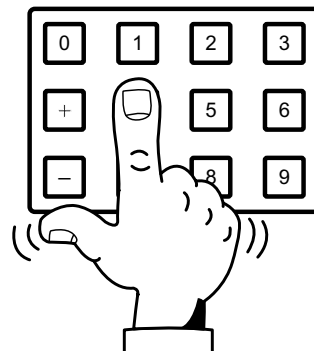
演奏する時は、P.20~の楽譜を参考にしてください。

1 ミュージックモードセクターでソング(SONG)を選択します。



2 ソングナンバーを選択します。

番号0~9ボタンを使って、00~19(PSR-150)、00~14(PSR-75)の中からソングナンバーを選びます。番号は順番に2つのボタンを押して設定してください。



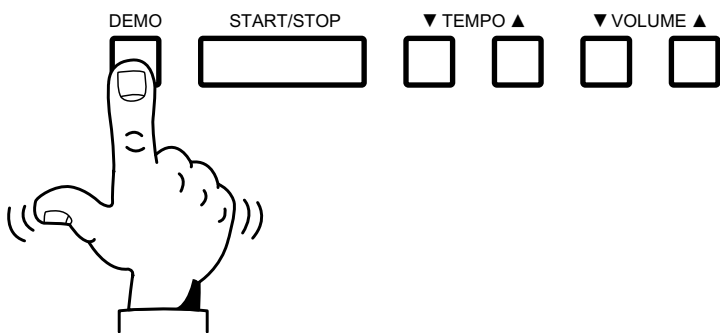
・ソングナンバー20~39(PSR-150)、15~29(PSR-75)のジャムトラックに関してはP.16を参照してください。

・本体パネルに表示されていないナンバー(PSR-15 は40以上、PSR-75は30以上)は選択できません。これらのナンバーを押しても、クリック音(ボン、キン)は鳴りません。

・電源を入れた時、ソングナンバーは00にセットされています。

3-1 デモ曲のスタート/ストップ(デモ曲を聴くとき)

デモ(DEMO)ボタンを押すとデモ曲がスタートします。もう一度デモボタンを押すか、またはスタート/ストップ(START/STOP)ボタンを押すまで、ナンバー順に繰り返しデモ曲が演奏されます。最後のナンバーのデモ曲を演奏した後は、自動的に最初のナンバーのデモ曲に戻ります。



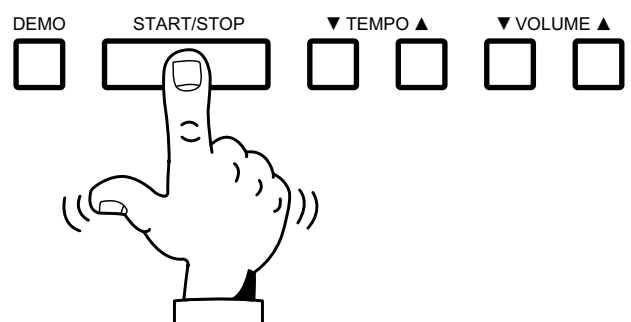
- ・ソングを選ぶと、そのソングのメロディーに使われている音色が鍵盤に自動的に設定されます。
- ・デモ曲の演奏中も、ダイヤルを回してボイスを変更することができます。また、デモ曲の中には途中でメロディー音色が変わるものがありますが、自分でボイスを選んだ場合は、もう一度ソングナンバーを選ぶまでメロディー音色は変更されません。

- ・デモ曲のボイスを変更した場合、曲によってはオクターブが違うものがあります。

- ・ソングをスタートさせることによって、スタイルモードで選択されていたスタイルナンバーは変更されます。
- ・ソングを選ぶと、そのソングに適した標準テンポが自動的に選ばれます。

3-2 マイナスワン演奏のスタート/ストップ(デモ曲を弾くとき)

スタート/ストップ(START/STOP)ボタンを押すと、デモ曲のマイナスワン演奏がスタートします。楽譜を見ながらデモ曲のメロディー部分を演奏してみましょう。マイナスワン演奏は、もう一度スタート/ストップボタンを押すか、曲が終わるとストップします。

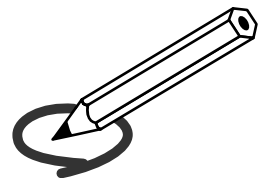


- ・スタート/ストップボタンを押すかわりに、鍵盤のいずれかを押さえても自動的にマイナスワン演奏がスタートします。

- ・デモボタンを押すと、マイナスワン演奏は止まり、通常のデモ曲(メロディー演奏を含んだもの)の演奏がすぐに始まります。

- ・ソングを選ぶと、そのソング(デモ曲)のメロディーに使われている音色が鍵盤に自動的に設定されます。デモ曲を聴くときと同じように、ボイスを変更することができます。また、自分の使用したいボイスでソングをスタートさせることもできます。その場合は、ダイヤルを回していったんボイスモードに移りボイスをえらんでから、再びソングモードに戻ってソング(マイナスワン演奏)をスタートさせてください。

8 デモ曲が自由に選べるようになったら、チェックシート(P.32)に印を書き込んでください。



9 デモ曲が弾けるようになったら、チェックシート(P.32)に印を書き込んでください。

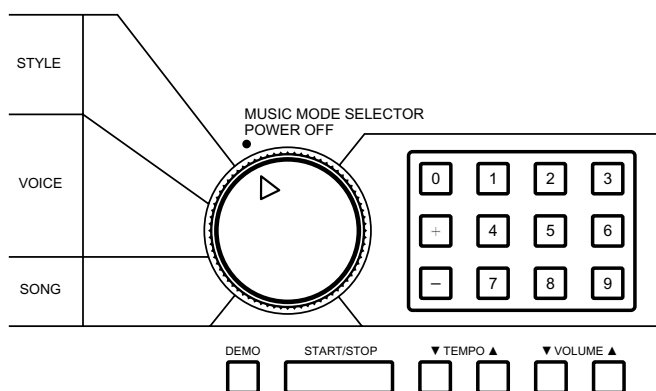
ジャムトラックを使ってみましょう！

ジャムトラック

PSR-150 には20種類のジャムトラックが、PSR-75 には15種類のジャムトラックがプリセットされています。ジャムトラックとは、いろいろな音楽スタイルの典型的なコード(和音)進行がプログラムされているものです。

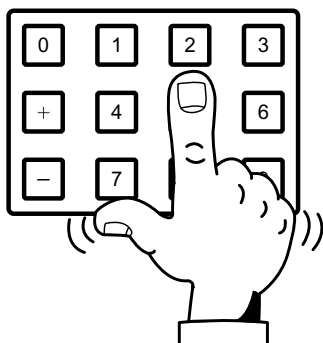
ジャムトラックを鳴らしている場合は、すべての鍵盤を使ってメロディーを演奏することができます。自分の好みのジャムトラックを選び、伴奏に合わせて演奏してみましょう。

1 ミュージックモードセクターでソング(SONG)を選択します。



2 ジャムトラックナンバーを選択します。

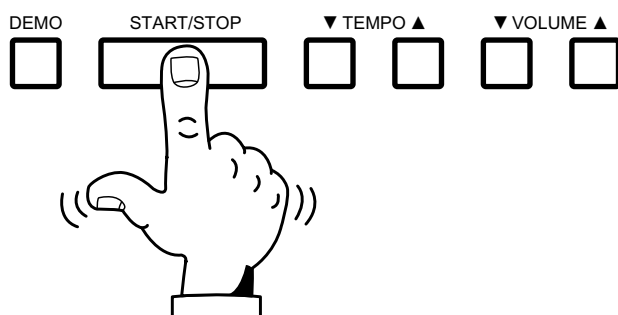
番号0~9ボタンを使って、20~39(PSR-150)、15~29(PSR-75)の中からジャムトラックのナンバーを選びます。ナンバーは10の桁、1の桁の順で2つボタンを押して選んでください。



・本体パネルに表示されていないナンバー(PSR-15 は40以上、PSR-75は30以上)は番号ボタンを押しても選べません。

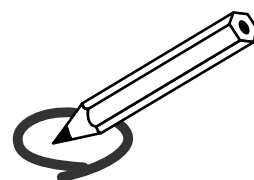
3 ジャムトラックのスタート/ストップ

スタート/ストップ (START/STOP)ボタンを押すと、ジャムトラックの演奏がスタートします。もう一度スタート/ストップボタンを押すまで、同じコードパターンが繰り返し演奏されます。



- ・ジャムトラックを選ぶと、それに最も適した鍵盤の音色とテンポが自動的に選ばれます。ジャムトラックごとに選ばれるボイスは18.19ページの「スタイル/ジャムトラックのボイス一覧」を参照してください。また、ソング(マイナスイオン演奏)と同様にほかのボイスで演奏することもできます。
- ・スタート/ストップボタンを押すかわりに、鍵盤のいずれかを押さえると自動的にジャムトラックの演奏がスタートします。
- ・デモボタンを押すと、ジャムトラックの演奏は止まり、通常のデモ曲(メロディー演奏を含んだもの)の演奏がすぐに始まります。また、ジャムトラックを選んだ後、デモボタンを押すと、ジャムトラックのナンバーはキャンセルされ、ソングナンバー00のデモ曲がスタートします。

○ジャムトラックを選んで演奏できるようになったら、チェックシート(P.32)に 印を書き込んでください。



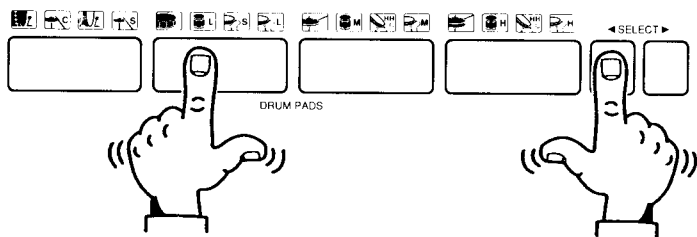
ドラムパッドを鳴らしてみましよう(PSR-150)

●ドラムパッド

PSR-150には4つのドラムパッド(DRUM PAD)があります。このドラムパッドはどのモードの時でも使用できます。自由にパーカッションを演奏したり、伴奏にドラム音を付け加えて演奏してみましよう。

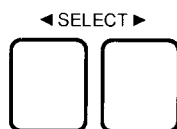
① ドラムパッドをたたいてみましよう。

4つのパッドにはそれぞれ4種類ずつのドラム／パーカッションサウンドがプリセットされています。電源を入れた時は、各パッドの上にイラストにある音色のうち、最も左のドラム／パーカッションセットが鳴ります。



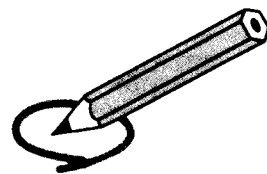
② ドラムパッドの音を変更します。

パッドの音色を変える時は、パッドセレクト(PAD SELECT)◀▶ボタンを使用します。▶ボタンでドラム／パーカッションのセット(イラスト参照)が、4つのパッド同時に一つ右に変更され、◀ボタンで一つ左に変更されます。◀▶ボタンを使って、16種類の音色を聴いてみましよう。



- ・ボタンを押すと音(ボン、キン)が鳴りますが、最も左、または最も右のセットになるとそれ以上の変更はできなくなり、ボタンを押しても音が鳴らなくなります。
- ・ドラムパッドは2つまで同時に鳴らすことができます。また、ドラムパッド以外のボタンを複数同時に押した場合、ドラムパッドは発音しないことがあります。

① ドラムパッドで自由に音色を選んで、演奏できるようになったら、チェックシート(32ページ)に○印を書き込んでください。



サウンドエフェクトパッドを鳴らしてみましよう(PSR-150)

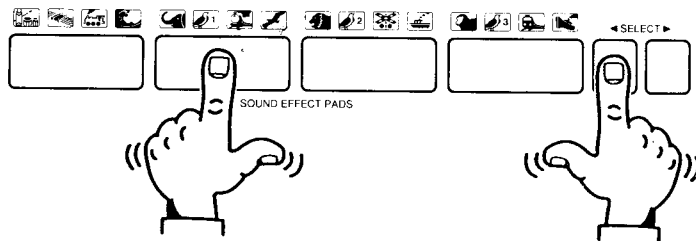
●サウンドエフェクトパッド

PSR-150には4つのサウンドエフェクトパッド(SOUND EFFECT PAD)があり、それぞれに4種類ずつのサウンドエフェクト(効果音)がプリセットされています。サウンドエフェクトパッドはどのモードの時でも使用できます。

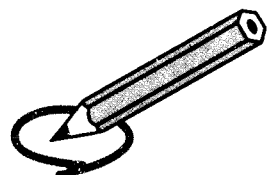
ドラムパッドと同じように、パッドセレクト(PAD SELECT)◀▶ボタンを使って16種類の効果音の中から好みのものを選んで、演奏してみましよう。

- ・同時に2つまでパッドが使用できます。3つ以上連続して使用することもできますが、同時発音数の限界を越えた場合はある音が途中で消えたり、鳴らなかったりすることがあります。

- ・サウンドエフェクトの中には、パッドを押している間、鳴り続けるものがあります。



①サウンドエフェクトパッドで自由に音色を選んで、鳴らせるようになったら、チェックシート(32ページ)に○印を書き込んでください。



スタイル/ジャムトラックのボイス一覧

PSR-150/75 スタイルのボイス

スタイル	N	o	ボイスNo.	ボイス名
PSR-150	PSR-75			
0 0	0 0	0 0	0 0	ピアノ
0 1	-		4 9	電子ピアノパッド
0 2	0 2		4 8	ピアノとビブラフォン
0 3	-		2 3	ブラスアンサンブル
0 4	-		5 0	電子ピアノとビブラフォン
0 5	-		5 1	フォークギターパッド
0 6	0 1		1 7	オーケストラヒット
0 7	0 3		2 3	ブラスアンサンブル
0 8	-		5 4	ファンタジー 1
0 9	-		2 9	パンフルート
1 0	-		4 1	コーラス電子ピアノ
1 1	-		5 1	フォークギターパッド
1 2	0 4		4 9	電子ピアノパッド
1 3	0 5		0 3	クラビ
1 4	0 6		4 1	コーラス電子ピアノ
1 5	-		4 7	ピアノパッド
1 6	0 7		5 3	ブラスアンサンブル
1 7	-		0 4	電子オルガン
1 8	0 8		2 1	トロンボーン
1 9	0 9		2 9	パンフルート
2 0	1 0		5 1	フォークギターパッド
2 1	1 1		2 3	ブラスアンサンブル
2 2	-		2 8	テナーサクス
2 3	-		1 2	ディストーションギター
2 4	-		4 0	ホンキーートンクピアノ

スタイル	N	o	ボイス N	ボイス名
PSR-150	PSR-75			
2 5	1 2		0 4	電子オルガン
2 6	1 3		7 1	ビブラフォン
2 7	1 4		4 7	ピアノパッド
2 8	-		4 9	電子ピアノパッド
2 9	1 5		8 3	フルーツ・デュエット
3 0	1 6		3 2	シンセリード
3 1	-		8 4	クラリネット・トリオ
3 2	-		2 1	トロンボーン
3 3	1 7		5 2	ジャズギターパッド
3 4	1 8		8 1	トランペット・デュエット
3 5	1 9		4 7	ピアノパッド
3 6	-		2 1	トロンボーン
3 7	-		5 3	ブラスアンサンブル
3 8	2 0		0 6	アコーディオン
3 9	2 1		4 7	ピアノパッド
4 0	-		8 1	トランペット・デュエット
4 1	-		2 1	トロンボーン
4 2	-		7 7	バイオリン・カントリー
4 3	-		8 1	トランペット・デュエット
4 4	2 2		2 6	クラリネット
4 5	2 3		5 4	ファンタジー 1
4 6	-		1 6	ストリングス
4 7	-		8 2	ホルン・デュエット
4 8	-		4 7	ピアノパッド
4 9	2 4		-	-

PSR-150 ジャムトラックのボイス一覧

ジャムトラック No.	ボイスNo.	ボイス名
2 0	4 7	ピアノパッド
2 1	1 7	オーケストラヒット *
2 2	4 8	ピアノとビブラフォン *
2 3	2 8	テナーサククス
2 4	0 0	ピアノ
2 5	1 2	ディストーションギター
2 6	0 0	ピアノ
2 7	0 4	電子オルガン
2 8	5 3	プラスアンサンプル
2 9	4 9	電子ピアノパッド
3 0	6 5	ピアノ/ビブラフォン *
3 1	2 8	テナーサククス *
3 2	4 1	コーラス電子ピアノ *
3 3	2 5	フルート *
3 4	8 1	トランペット・デュエット *
3 5	0 6	アコーディオン *
3 6	2 1	トロンボーン
3 7	7 7	バイオリン・カントリー *
3 8	2 0	トランペット *
3 9	4 9	電子ピアノパッド

PSR-75 ジャムトラックのボイス一覧

ジャムトラック No.	ボイスNo.	ボイス名
1 5	4 7	ピアノパッド
1 6	1 7	オーケストラヒット *
1 7	4 8	ピアノとビブラフォン *
1 8	0 4	電子オルガン *
1 9	0 0	ピアノ
2 0	0 4	電子オルガン
2 1	5 3	プラスアンサンプル
2 2	4 9	電子ピアノパッド
2 3	6 5	ピアノ/ビブラフォン *
2 4	4 1	コーラス電子ピアノ *
2 5	2 5	フルート *
2 6	8 1	トランペット・デュエット *
2 7	0 6	アコーディオン *
2 8	2 0	トランペット *
2 9	1 6	ストリングス *

の付いたボイスは、コード進行中に他のボイスに変わります。

[現象]	[原因]	[解決方法]
電源スイッチ(ミュージックモードセレクター)をオン/オフした時に、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
リズムが突然止まってしまうたり、ボイスが突然ピアノボイスに替わる。	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
同時に押さえた鍵盤の音が全部鳴らない。	同時に鍵盤を押さえ過ぎです。	PSR-150/75 の最大同時発音数は12です。自動伴奏機能を使用するとPSR-150/75 の同時発音数は減ります。(P.9参照)

オプション 別売)商品のご紹介

ヘッドホン

HPE-5 ¥5,500

HPE-3 ¥3,000



キーボードスタンド

L-2C ¥6,000

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

PSR-150/75仕様

	PSR-150	PSR-75
キーボード	レギュラーサイズ61鍵	レギュラーサイズ49鍵
	(C1~C6)	(C1~C5)
ボイス	AWM100音色(最大同時発音数12)	
スタイル	50スタイル	25スタイル
オートアカンパニメント	○	○
フィンガリング	マルチフィンガリング	
ベースコードホールド	○	○
ドラムパッド	4×4音色	—
サウンドエフェクトパッド	4×4音色	—
ソング(デモ曲) (マイナスイオン) (ジャムトラック)	20	15
	20	15
	20	15
コントロール	ミュージックモードセクター(電源切/スタイル/ボイス/ソング)、0~9、 +/-ボタン、スタート/ストップボタン、テンポ▲▼ボタン、ボリューム▲▼ボタン、 デモボタン、パッドセレクト◀▶ボタン×2(PSR-150)	
ジャック	DC INジャック、ヘッドフォン/AUX. OUTジャック	
アンプ最大出力	2.1W×2(ステレオ)	3W×1(モノラル)
スピーカー	10cm×2	10cm×1
定格電源	DC 9-12V：単1乾電池(1.5V)×6、電源アダプターPA-3	
電池寿命(連続デモ演奏の場合)	10時間	10時間
消費電力(電源アダプター) (乾電池)	1.8W	2.5W
	1.4W	1.8W
寸法(幅×奥×高さ)	930×341×118	842×264×105
重量(kg)	4.30	3.10
付属品	電源アダプターPA-3、譜面立て、和文シート	電源アダプターPA-3、譜面立て
オプション(別売)商品	ヘッドフォンHPE-3/5、キーボードスタンドL-2C	

※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

付録2：ポータトーン上達チェックシート

ポータトーンの演奏がどの程度上達したかをチェックするシートです。マスターしたことからどんどんチェックしてください。

	マスターしたこと	日付	MEMO(弾けるようになった曲など)
①	モードの切り換えが自由にできるようになった。		
②	ボリュームの変更が自由にできるようになった。		
③	テンポの変更が自由にできるようになった。		
④	ボイス(音色)を自由に選んで鳴らせるようになった。		
⑤	スタイルを自由に選んで鳴らせるようになった。		
⑥	シングルフィンガーでコードを押さえられるようになった。		
⑦	フィンガードコードでコードを押さえられるようになった。		
⑧	好きなデモ曲を自由に選んで鳴らせるようになった。		
⑨	デモ曲が弾けるようになった(マイナスイオン演奏)。		
⑩	ジャムトラックを使って自由に演奏できるようになった。		
⑪	演奏中にドラムパッドやサウンドエフェクトパッドをたたけるようになった。(PSR-150)		
☆	マイナスイオン演奏やジャムトラックの使用中にボイスを変更できるようになった。		

保証とサービスについて

●本機の保証期間は、保証書により、ご購入から満1ヵ年です。(国内のみ有効)なお、現金・クレジットなど支払い方法による保証の区別はいたしません。

●保証期間の1ヵ年を過ぎましても、有償にて責任をもってサービスを実施いたします。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ店、または、下記のサービス拠点までお問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にご持参ください。責任をもって修理調整いたします。

■サービスのご依頼

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の「こんなときは……」の項をお読みいただき、ご確認ください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。)なお、サービスをご依頼される時は、お名前、ご住所、電話番号などを正確にお知らせください。また、お勤めなどでご不在がちの方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡先をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたい時や、万一やむをえない事情によってお約束を変更しなければならないような時に、お客様にご迷惑をおかけしないですみます。)

◆ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条1丁目1-50(ヤマハセンター内)TEL. 011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7(仙台卸商共同配送センター3F)TEL. 022-236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8(シルバーポールビル2F)TEL. 025-243-4321
東京サービスセンター	〒101 千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)TEL. 03-3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184TEL. 044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911(ヤマハ鞆宮竹工場内)TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2(ヤマハ鞆名古屋流通センター3F)TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(ヤマハ鞆千里丘センター内)TEL. 06-877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町通2-7-3(ヤマハ鞆神戸店内7F)TEL. 078-321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ鞆高松店内)TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4TEL. 092-472-2134
本社/カスタマーサービス部	〒430 浜松市上西町911(ヤマハ鞆宮竹工場内)TEL. 053-465-1158

◆各支店営業課リスト

北海道支店LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条1丁目1-50 ヤマハセンター TEL. 011-512-6113
仙台支店LM営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL. 022-222-6140
東京支店特販営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL. 03-3572-3130
関東支店LM営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL. 03-3572-3130
名古屋支店LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5150
大阪支店特販営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 TEL. 06-252-7491
広島支店LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082-244-3749
九州支店LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2130
国内営業統括本部LM営業部	〒104 東京都中央区銀座 7-9-18
ポータブル楽器営業課	パールビル8F TEL. 03-5568-2937

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

©1992 Yamaha